

2021 年度数学教育学会夏季研究会(関西エリア)

日 時 2021 年 6 月 20 日 (日) 10 : 00 - 15 : 00
場 所 オンライン開催 (担当校 : 大阪教育大学)
担 当 富永 雅 竹歳賢一, 西川恭一, 黒田恭史, 鈴木正彦

プログラム

一般発表 座長 (竹歳賢一)

10 : 00

- ① 津田真秀 (京都教育大学附属京都小中学校)
藤本卓也 (京都教育大学附属京都小中学校)
黒田恭史 (京都教育大学)
「データ分析力とそれに基づく判断力を育成する統計教育の在り方
ー小学校第 6 学年を対象とした表計算ソフトによる気象データ解析ー」

10 : 30

- ② 河合真美 (東大阪市立金岡中学校), 二澤善紀 (佛教大学)
「「関数」領域における学習指導の考察」

11 : 00

- ③ 葛城 元 (京都教育大学附属高等学校), 黒田恭史 (京都教育大学)
「ハイブリッド型数学授業がもたらす学習効果と学力格差
ー高校生の学力層に着目した分析を通してー」

11 : 30

- ④ 渡辺 信 (生涯学習数学研究所)
「絵画を仲介して数学の歴史を観る
数学史は何を語りかけているのか」

12 : 00 昼食

シンポジウム「数学史や数学教育史から現代の数学教育の課題を再検討する」

13 : 00

コーディネーター

- ・富永 雅 (大阪教育大学)
「数学史や数学教育史から現代の数学教育の課題を再検討する」

パネリスト

- ・西川恭一 (神戸教育短期大学)
「明治前期の算術教育」
- ・中西正治 (三重大学教職大学院)
「現場が未だに抱えている算数・数学教育の課題」
- ・松宮哲夫 (大阪教育大学元教授・内モンゴ師範大学客座教授)
「日本数学教育の歩みの特徴と歴史の教訓 ー研究姿勢ー」

15 : 00 閉会の辞